

高収益な農業に取り組む現場から学ぶ
— 土地改良事業の実施地区から —

平成30年3月
農林水産省

取組事例集 目次

主な作物	地域名	地区名	事例	頁	取組の工夫			
					体制・人材づくり	栽培作物・方法	加工・出荷	販売
野菜	熊本県熊本市	小島	玉ねぎなどの周年作付により地域の所得を向上	15	○	○		○
	宮崎県都城市	沖水	集落営農の法人化で地域農業をもっと元気に	16	○	○	○	○
	鹿児島県志布志市・大崎町	曾於南部	基盤整備とともに地域で成長する農業法人	17	○	○	○	○
	沖縄県八重瀬町	具志頭	「ぐしちゃんピーマン」で県内随一の産地形成	18	○	○	○	○
花き	秋田県秋田市	平沢	「あきた型ほ場整備」で華咲く地域農業の未来	19	○	○	○	○
水稲	新潟県魚沼市	一日市	集落ぐるみ型農業生産法人を核とした魅力あるむらづくり	20	○	○	○	○
	滋賀県東近江市	栗見出在家	「魚のゆりかご水田米」で地域と琵琶湖を元気に	21	○	○	○	○
果樹	山梨県北杜市	天王原	農地整備により耕作放棄地がぶどう産地に大変身	22	○	○	○	
	静岡県静岡市	新丹谷	樹園地の緩傾斜化と地域連携によるみかんのブランド化	23	○	○	○	○

【本資料のねらい】

本資料は、農地や農業用排水施設の整備等の土地改良事業を実施した地区において、新たな担い手組織の創設、高収益作物の導入や6次産業化などを通じ、収益性の高い農業を実践し「強くて豊かな農業」と「美しく活力ある農村」の実現に取り組む先導的な事例を紹介するものです。全国各地で、こうした取組の横展開が図られることを期待しています。

【工夫のポイント】

- 樹園地の大区画化・平坦化によって農作業の効率化や作物の品質向上が図られたほか、**収益性の高い新品種の導入**が実現。
- 地域JAや食品メーカーとの連携による、**加工品の開発やオーナー制度により「清水のミカン」のブランド力を向上**。
- 「儲かる農業」の実現により、**息子世代の跡継ぎが相次いで就農を決心**。地域の担い手が確保され、安定した産地の形成が実現。

【取組地域の概要】

- **位置** しずおかししみずくあらたにや
静岡県静岡市清水区新丹谷



- **主要作物**
・柑橘類
- **主な支援施策**
・農地整備事業(担い手育成型)(H9~H27)
・農業基盤整備促進事業(H27)
・多面的機能支払交付金(H19~)
・強い農業づくり交付金(H20~H21)

樹園地の大区画化・平坦化による農業経営の大幅な改善

- 急傾斜地を大区画かつ平坦な樹園地に整備することで、**生産性の飛躍的な向上、品質・収量の安定化が図られ、農業経営が改善**。
- 事業の実施に当たっては、新東名高速道路建設と連携し、**建設発生の受入れ**や高速道路用地の提供(非農用地創設)によって**農家負担の軽減**を実施。



基盤整備
(H9年~H27年)

【整備前】

樹園地は狭小かつ急傾斜であり、防除や収穫等の作業に多大な労力を要し、農業従事者の高齢化や後継者不足により、産地の維持が困難となっていた。



基盤

生産現場

みかんの高品質化及び新品種の導入

- マルチドリップ方式やスピードスプレイヤの導入など、高品質化への取組と併せ、**「はるみ」等の高単価品種の導入**が可能となったことで、収益性が向上。



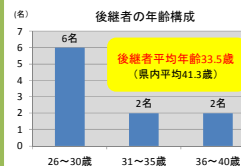
加工品の開発等によるブランド力の向上

- 地域JAが主体となり、地元の製造メーカーとの連携による柑橘を加工した**商品開発を推進**。
- **オーナー制度**により、「清水のミカン」を都市部に発信し、ブランド力の向上を図る。



「儲かる農業」の実現で後継者の就農が増加

担い手

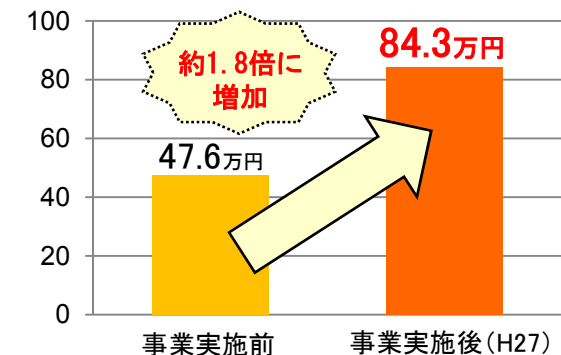


- 事業の実施による営農環境の改善及び高収益化により、実施前には不在であった**若手後継者が5年間で10名誕生(平均年齢は33.5歳)**。

高収益な新品種の導入や加工等を通じた高付加価値化による販売額の増加

- 基盤整備により、営農作業の省力化や収量の向上、高単価な新品種の導入が可能となったほか、地域の関係者が一体となった商品加工等の取組を通じて、**単位面積当たりのみかんの販売額が大きく向上**。

(万円) 【単位面積(10a)当たりの販売額】



出典:地区内担い手農家からの聞き取り